

# 成果は上げられたのか 議会の判断は！



決算特別委員会4日目は、討議事項を四つ抽出し、全委員で討議を行いました。討議終了後、合意形成を図りました。

## 長期総合計画の基本目標6

### 「便利で快適に暮らせるまち」

#### 施策分野2 公共交通

事項  
討議

#### コミュニティバスの運行について



##### 討議での主な意見



**結果→**決算委員長の審査報告に  
討議内容を盛り込む。

コースの一部廃止は適切な判断であった。

コースの一部廃止の結論を早く出すべきであった。

乗車率向上のための取り組みは検討の余地があった。

PR不足。もっとPRに予算をかけてもよかったのではないか。

住民の意見が反映されていたのか疑問である。



事項  
討議

#### デマンド交通の実証実験について

##### 討議での主な意見

コミバスの代替交通として、期待できる。

収支率については大きな課題がある。

コミバスの代替交通なのに年齢制限などがあることは問題。

福生病院に行けるコースがあるのは非常に良い。

実績として登録者数が少ない。啓発・PRや登録方法に課題があったのでは。

1台での運行には利便性に問題がある。



**結果→**決算委員長の審査報告に  
討議内容を盛り込む。

## 長期総合計画の基本目標2

### 子どもたちがのびのびと育つまち

#### 施策分野5 確かな学力の育成と個性と創造力の伸長

事項  
討議

#### 教育に携わるスタッフについて



##### 討議での主な意見

スタッフの制度は充実しているが、連携に懸念がある。

スクール・ソーシャル・ワーカーは2名配置のところ、1名しか配置できなかった期間があった。人材確保に課題があるのでは。

支援スタッフが20名から10名に減ったが、その影響について検証がされたのか疑問である。

ひかり学級の開設は新規事業として成果があったと評価できる。

部活動コーディネーターが配置されているが、地域連携の動きがなかったのは問題ではないか。



**結果→**決算委員長の審査報告に  
討議内容を盛り込む。

事項  
討議

#### 不登校対策の推進について

##### 討議での主な意見



教育支援室「いぶき」の利用者が倍以上に増加し、居場所として必要性が再認識された。

不登校の原因の分析を科学的に行う必要がある。「Q-U」などを導入すべきでは。今後は幅広い状況に対応する必要がある。

二中に「つむぐ」を開設し、別室登校の取り組みを始めたことは評価できるが、周知不足では。

タブレットの持ち帰りやりりモートでの授業参加など、学びの機会を保障する取り組みを加速すべき。

**結果→**決算委員長の審査報告に  
討議内容を盛り込む。

※Q-U…児童・生徒の意欲や満足度、学級の状態を測定する検査

「いぶき」は利用者が急増したが、スタッフの数が不足し、対応に影響が出ていた。